ローソンでは、「安全・安心・健康」のコンセプトに基づき、容器包装における環境負荷の軽減と有害物質の排除に取り組んでいます

安全・安心・健康な容器包装

安 全

・環境、安全衛生関連法規制を遵守しています。
・品質管理を徹底し、容器包装が原因となるトラブルを発生させないよう努力しています。
・内容物の品質を劣化させない長期保存性を実現しています。

安 心

・環境負荷が大きい原料の使用や生産・加工、物流をしていません。
・原材料に環境ホルモンなどの化学物質を含むものを使用していません。
・生産・加工の工程で有害な化学物質を使用していません。

健 康

・ユニバーサルデザインを採用し、高齢者や身体障害者への配慮を行っています。
・健康食品・自然食品のおいしさを損なわないよう加工調理を行っています。



●ダイオキシン

現在、オリジナル商品（米飯・惣菜等）の容器包装の非塩ビ化は既に完了し、焼却時にダイオキシン類が発生しないようにしました。

●環境ホルモン

環境ホルモンについては、溶出の疑いのある素材を極力使用しないよう素材の切り替えを進めています。

●容器包装

容器包装の製造過程においても、有害化学物質が発生しないよう、原材料や設備の改善に取り組んでいます。

●生分解性プラスチック

「安全・安心・健康」をさらに進めるため、容器包装を、非石油（植物由来＝バイオマス）原料や微生物によって水と炭酸ガスに分解される生分解性プラスチックへ切り替えることも検討しています。

レジ袋使用量の削減

ローソンではレジ袋の軽量化に取り組んでいます。2003年11月に導入した新しいタイプのレジ袋では、1袋あたり平均0.38グラム軽量化しました。2003年度のレジ袋使用重量は、軽量化と1店当たりの使用枚数の削減により、前年度と比べ約10％減量しました。同時にレジ袋削減キャンペーンにも取り組んでいます。
レジ袋は、焼却しても塩素等の有害ガスが発生しない素材を使用しています。



●レジ袋使用量

2003年度
19億7,532万枚
614万8,203kg

●1店あたり使用枚数

2002年度 **25万6千枚** ➡ 2003年度 **25万3千枚**
（▲1.2％削減）

●1袋あたり重量 ▲0.38g

●レジ袋全体でCO_2排出量 ▲104万1,250kg-CO_2

環境配慮素材の特徴・使用商品

軽量ポリプロピレン（PP）フィラー入りシート
現状の特性を維持しながら、フィラー（無機物）の含有量を軽減化することにより、廃棄物量とフィラー焼却灰の軽減を図った素材。《弁当・惣菜類の容器》

ポリエチレンテレフタレート（PET）シート
成形工場で成形時に出る抜きカスを再生使用することにより、使用樹脂量の有効活用を図った素材。《サラダ類・冷し麺類の容器》

単層発泡ポリプロピレン（PP）シート
ポリプロピレン（PP）を発泡させ使用することにより、使用樹脂量の減少化を図り、かつ断熱効果を付加した素材。《弁当の容器》

透明ポリプロピレン（PP）シート
従来のOPS（二軸延伸ポリスチレン）の代替品として、耐熱性、耐油性に優れ、かつ透明性を改善した素材。《弁当・惣菜類のフタ》

紙製容器
従来の化学的な素材に替わるものとして、リサイクル可能な紙容器を開発。耐水性、耐油性の課題を克服。《惣菜・ホット麺容器》

廃棄物の実態を定期的に調査し、廃棄物の排出量削減とリサイクルの推進を目指しています

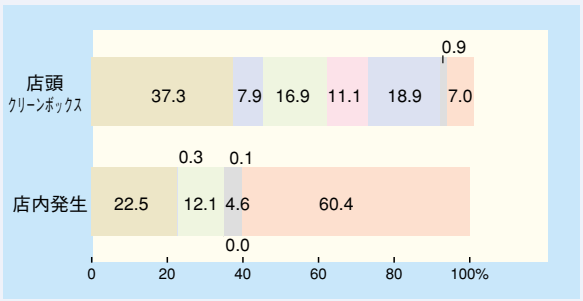
店舗の廃棄物実態調査

ローソンでは毎年、店舗廃棄物の実態調査を実施しています。店舗内部発生分と店舗外発生分（店頭に設置したゴミ箱）を区分し、発生場所を明確にして、廃棄物の分量、重量、容量を調査しています。今年度は大分類（４種類）、中分類（７分類）、小分類（２８分類）に細分化し、より正確な実態把握に努めました。調査結果の特徴は以下の通りです。この結果をもとに、廃棄物排出量の削減と資源のリサイクルの推進に取り組んでいきます。

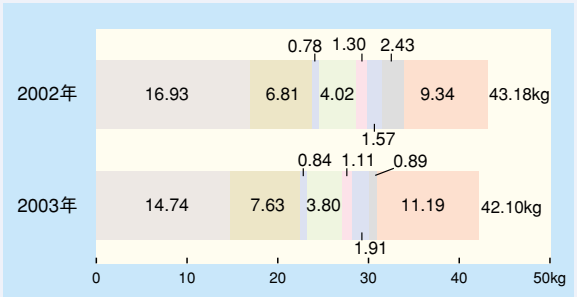
種類	店内		店頭クリーンボックス		合計			
	重量(kg)	容量(ℓ)	重量(kg)	容量(ℓ)	重量(kg)	割合(%)	容量(ℓ)	割合(%)
段ボール	14.74	137.21	0.00	0.00	14.74	35.0	137.21	29.4
その他紙・紙製容器包装	3.90	71.62	3.73	40.79	7.63	18.1	112.41	24.1
ペットボトル	0.04	0.98	0.80	18.52	0.84	2.0	19.50	4.2
プラスチック製容器包装	2.11	67.75	1.69	66.89	3.80	9.0	134.64	28.9
ビン	0.00	0.02	1.11	2.53	1.11	2.6	2.55	0.5
カン	0.01	0.18	1.90	24.25	1.91	4.5	24.43	5.2
雑芥類	0.79	1.45	0.09	0.47	0.89	2.1	1.92	0.4
食品残渣	10.48	31.78	0.70	2.13	11.19	26.6	33.90	7.3
合計	32.09	310.97	10.02	155.58	42.10		466.55	

※調査は、2004年2月広島市内のローソン6店舗で実施

発生別成分割合（重量比）



排出量比較（2002年・2003年）



段ボール　その他紙・紙製容器包装　ペットボトル
プラスチック製容器包装　ビン　カン　雑芥類　食品残渣

店舗廃棄物の実態調査は、廃棄物の排出量の削減とリサイクルの推進に向けたデータを把握するために行っています。今回実施した調査では、１日１店舗あたり（重量ベース）で店内から発生する廃棄物が32.09kg（76.2％）、店頭のゴミ箱に投棄される廃棄物が10.02kg（23.8％）出ていることがわかりました。店内の廃棄物では商品を梱包する段ボールと賞味期限切れの食品残渣が多くを占めており、ローソンとしても食品リサイクルの推進が不可欠であると認識し、現在、食品リサイクルシステムの構築をめざし実験を行っています。また、店頭のゴミ箱に投棄される廃棄物では店舗外からの持ち込みゴミが増えており、ローソンとしてお客さまに対し、廃棄物の削減にご協力を呼びかけていかなければならないと考えています。

店舗廃棄物の遵法処理

店舗から排出される廃棄物は、事業系一般廃棄物として各市町村の許認可を受けた収集処理取引先に委託し、適正な処理を進めています。店舗の改装時や閉鎖時の廃棄什器などについては、各都道府県の許認可を受けた産業廃棄物処理取引先に適正処理を委託し、マニフェスト伝票によりその確認を行っています。

容器包装リサイクル法への対応

毎年、財団法人日本容器包装リサイクル協会と再商品化委託契約を締結し、再商品化委託料を支払うことにより義務を果たしています。

し尿浄化槽の点検・整備

浄化槽法や各都道府県条例で義務づけられている、し尿浄化層の点検・整備について、対象店舗は取引先に委託し点検・整備を行っています。



マニフェスト（産業廃棄物管理票）伝票

マニフェストとは、もともと積荷目録の意味ですが、国内では産業廃棄物の処理の流れを把握するための管理票をマニフェストと称しています。